

平成29年度第1四半期における運用状況等

(平成29年4月～6月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになることやマイナスになることがあります。長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成25年3月29日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公表するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成29年度第1四半期（平成29年4月～6月）における運用環境について	1
2. 平成29年度第1四半期（平成29年4月～6月）におけるポートフォリオ別の運用状況 . . .	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
（参考） 用語の説明	5

1. 平成29年度第1四半期（平成29年4月～6月）における運用環境について

（4月）

国内外株式は、シリアや北朝鮮に係る地政学リスクの高まりが意識されたことや、円高の進行等により下落しました。月中以降は、仏23日に行われたフランス大統領選挙第1回投票の結果を受けて欧州の政治リスクへの懸念が後退したことや、米26日にトランプ米大統領が減税案を柱とした税制改革の基本方針を発表したこと等により上昇しました。国内債券の10年国債利回りは、地政学リスクを意識したリスク回避姿勢の強まり等から低下し、0.01%となりました。米国10年国債利回りも、国内債券同様、地政学リスクを意識したリスク回避姿勢の強まり等から低下し、2.28%となりました。為替は、地政学リスクを意識したリスク回避姿勢の強まりや、トランプ米大統領のドル高牽制発言等を受け円高となりましたが、月中以降は、地政学リスクや欧州の政治リスクへの懸念が後退したことから円安が進行し、対ドルは111円47銭、対ユーロは121円38銭となりました。

（5月）

国内外株式は、地政学リスクが後退したことや、仏7日に行われたフランス大統領選挙最終投票において、マクロン候補が勝利し、欧州の政治リスクへの懸念が更に後退したこと等から上昇しました。中旬においては、トランプ米政権によるロシア関与疑惑（ロシアゲート）を巡り、米政権運営に対する不信感から一時下落しましたが、下旬にかけては、良好な企業決算等を受けて再び上昇して終わりました。国内債券の10年国債利回りは、株高を背景に上昇し、0.04%となりました。米国10年国債利回りは、ロシアゲート疑惑によるリスク回避姿勢の強まりから低下し、2.20%となりました。為替は、日米金利差が縮小したことで円高となり、対ドルは110円59銭となりました。一方で、対ユーロはフランス大統領選挙の結果を受けて円安となり、124円36銭となりました。

（6月）

国内外株式は、米2日発表の雇用統計が市場予想を下回ったことを受け、米利上げペースが緩やかになるとの思惑が働いたことや、日本の企業決算が好調であったこと等を背景に上昇しました。下旬においては、欧米の金融緩和縮小の観測が強まったことで、やや下落して終わりました。国内債券の10年国債利回りは、海外の金利上昇等を受けて上昇し、0.08%となりました。米国10年国債利回りは、イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長の金融引き締めに向きの姿勢を示唆する発言等を受け上昇し、2.31%となりました。為替は、欧米の金融緩和縮小の観測が強まったことで金利が上昇し、日米金利差が拡大したこと等で円安となり、対ドルは112円36銭、対ユーロは128円16銭となりました。

2. 平成29年度第1四半期(平成29年4月～6月)におけるポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成29年度第1四半期(平成29年4月～6月)の被保険者及び期待者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成29年6月末時価総額は2,233億66百万円となり、第1四半期の総合収益は42億41百万円となりました。また、修正総合利回りは1.92%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成28年度末 時価総額	平成29年6月末 時価総額	時価総額構成割合	第1四半期 の総合収益	(参考) 修正総合利回り
国内債券	146,783	146,564	65.6	127	0.09
自家運用	66,922	65,786	29.5	119	0.18
外部運用	79,861	80,778	36.2	8	0.01
国内株式	31,216	32,968	14.8	2,087	6.69
外国債券	10,787	11,236	5.0	521	4.83
外国株式	30,781	31,875	14.3	1,505	4.90
短期資産	106	723	0.3	1	—
合 計	219,673	223,366	100.0	4,241	1.92

- (注)
- 国内債券のうち自家運用(満期保有目的)については、償却原価法(定額法)を適用しています。
 - 平成28年度末時価総額は、平成28年度決算整理後の額となっています。なお、短期資産の106百万円は、決算整理前の額1,017百万円から被保険者危険準備金ポートフォリオへの繰入額911百万円を減算した額です。
 - 平成29年6月末時価総額(合計)は、平成28年度末時価総額(合計)219,673百万円に、第1四半期の受給権者ポートフォリオへの繰入額等548百万円を減算及び総合収益の4,241百万円を加算した額223,366百万円となりました。
 - 短期資産の修正総合利回りの数値は、自家運用分については0.0007%となりますが、外部運用分については保管・管理手数料等が含まれているため、表示していません。なお、保管・管理手数料等を整理する前の外部運用分の利回りは0.01%となります。
 - 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。(以下同じ。)

② 受給権者ポートフォリオ

平成29年度第1四半期(平成29年4月～6月)の受給権者に係る資産状況は、次表のとおりとなっており、年金給付等の原資は確保されています。

(単位:百万円)

資 産	平成28年度末 時価総額	平成29年6月末 時価総額
国内債券	57,245	56,878
短期資産	5,397	8,708
合 計	62,643	65,587

(注) 1. 平成28年度末時価総額は、平成28年度決算整理後の額となっています。なお、短期資産の5,397百万円は、決算整理前の額5,005百万円に、受給権者危険準備金ポートフォリオからの繰入額392百万円を加算した額です。

2. 平成29年6月末時価総額の短期資産のうち5,988百万円は、マイナス利回りの国内債券を購入するのを回避するため、暫時短期資産として取り置いているものです。

③ 被保険者危険準備金ポートフォリオ及び受給権者危険準備金ポートフォリオ

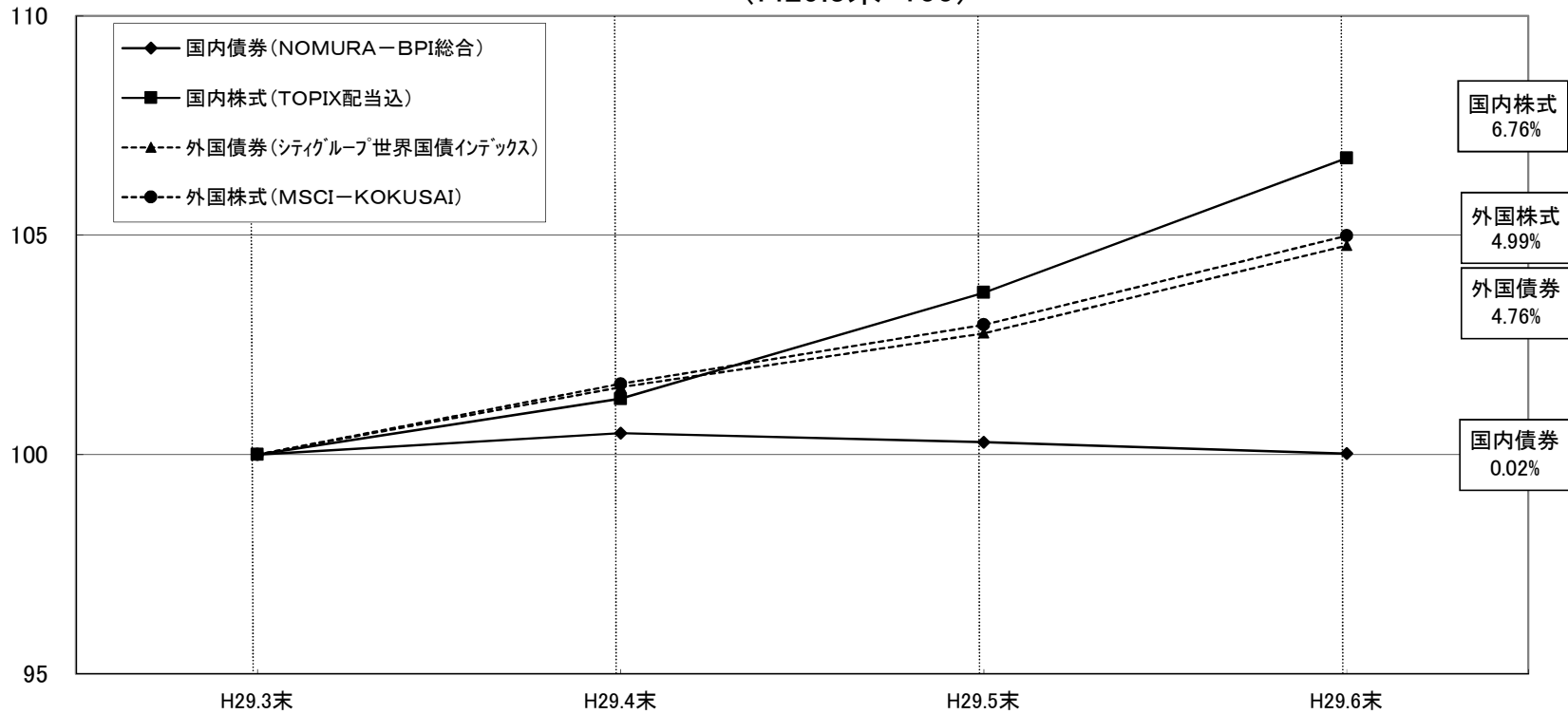
平成29年度第1四半期(平成29年4月～6月)の危険準備金に係る資産状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円)

ポートフォリオ	区 分	資 産	平成28年度末 時価総額	平成29年6月末 時価総額
被保険者危険準備金 ポートフォリオ	付利準備金	短期資産	6,055	6,055
	調整準備金	短期資産	2,785	2,743
	合 計		8,840	8,798
受給権者危険準備金 ポートフォリオ	調整準備金	短期資産	1,616	1,681

(注) 平成28年度末時価総額は、平成28年度決算整理後の額となっています。なお、被保険者危険準備金ポートフォリオの短期資産の合計8,840百万円は、決算整理前の合計額7,929百万円に、被保険者ポートフォリオからの受入額911百万円を加算した額です。また、受給権者危険準備金ポートフォリオの短期資産の1,616百万円は、決算整理前の額2,008百万円に受給権者ポートフォリオへの繰入額392百万円を減算した額です。

3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H29.3末=100)



(参考)市場インデックス

区分	平成29年3月末	平成29年4月末	平成29年5月末	平成29年6月末
国内債券(新発10年国債利回り)	0.065 %	0.010 %	0.040 %	0.084 %
(NOMURA-BPI総合)	378.492 ポイント	380.333 ポイント	379.549 ポイント	378.570 ポイント
国内株式(日経225)	18,909.26 円	19,196.74 円	19,650.57 円	20,033.43 円
(TOPIX配当込)	2,176.87 ポイント	2,204.51 ポイント	2,257.27 ポイント	2,324.06 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	2.388 %	2.281 %	2.204 %	2.305 %
(独10年国債利回り)	0.328 %	0.317 %	0.304 %	0.466 %
(シテグループ世界国債インデックス)	427.833 ポイント	434.394 ポイント	439.666 ポイント	448.207 ポイント
外国株式(NYダウ)	20,663.22 ドル	20,940.51 ドル	21,008.65 ドル	21,349.63 ドル
(独DAX指数)	12,312.87 ポイント	12,438.01 ポイント	12,615.06 ポイント	12,325.12 ポイント
(MSCI-KOKUSAI)	2,682.397 ポイント	2,725.626 ポイント	2,761.768 ポイント	2,816.224 ポイント
為替レート(対ドル)	111.43 円	111.47 円	110.59 円	112.36 円
(対ユーロ)	119.18 円	121.38 円	124.36 円	128.16 円

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。